



発行日：平成 27 年 9 月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第 27 回海部会 WG を開催しました！

9 月 13 日（日曜日）に第 27 回海部会WGを開催しました。
今回 WG は、矢作川をきれいにする会主催の「海の生き物調査隊」に参加し、西尾市吉良町三河湾沖で海底の生物及びゴミ調査を実施しました。



日時：H27 年 9 月 13 日（日） 9:00～11:30

場所：西尾市吉良町 宮崎漁港

参加者：4 名（事務局含む）

◆主な活動内容

1：主催者からの挨拶と海の環境に関するお話を聞きました。



■今回のイベントの開催趣旨と注意事項の説明

●はじめに、本イベントの主催者である「矢作川をきれいにする会」会長の石川さんから開催にあたっての挨拶がありました。

●西三河漁協組合から、底引き網漁を見学するにあたって、船上での注意事項等の説明がありました。なお、今回の参加者は家族連れが多く、小さな子供も多かったことから、特に船上では目を離さないように強く発言されていました。

■三河湾の環境と生き物のお話し

●愛知県水産試験場の方から、三河湾の環境の歴史、プランクトンと赤潮の関係や水質（貧酸素水塊）の問題、また干潟に生息する生物の役割などについて、説明していただきました。

今回は家族連れの参加者がほとんどであり、幼児や小学生の参加も多かったことから、とてもわかりやすく説明をしていただきました。

■アサリの水質浄化実験

●アサリの水質浄化機能を知るための実験として、プランクトンで汚れた水をアサリが入っている水槽と、アサリが入っていない水槽につくり、イベントの終わりにどのようになっているか比べてみました。

結果として、アサリが入っている水槽は透明な水に戻り、アサリが入っていない水槽は汚れたままの状態でした。あまりの違いに参加者は驚嘆していました。



2：底引き網による海底の生き物およびゴミ調査



- 参加者が6隻の船に分かれて乗船し、港を出発しました。
- 沖に出ると、底引き網を沈め、15～20分ほど走行した後、網を引き揚げました。



- 引き上げた網の中にある魚やカニ、ごみを乗船していた漁師さんが仕分けしてくれました。
- アカエイやガザミなどの魚介類とともに、弁当のプラスチックケースや空き缶などがたくさん獲れました。



- 港に戻って、乗船した船で獲れた魚介類の名前を愛知県水産試験場の方が参加者に説明をしてくださいました。
- 網に入っていた魚介類は、アカエイ、ガザミが多く、その他ではマゴチ、シロギス、ギマ、イシガレイ、マダコなどがいました。



■ふりかえり

- 今回のイベントの参加者は約100名で申込み日当日に定員超過となるほど市民からの認知度が高く、海に関する意識が高いと感じました。
- 参加者の多くが家族連れであり、小学生や幼児の参加も多く、環境教育の場として効果が高いと感じました。
- 底引き網調査では思ったよりも魚介類が捕獲されず、一方で我々の日常生活から排出されるプラスチックごみや空き缶が多かったことに対して、美しい海の環境を取り戻すには一人一人のモラルが重要と感じました。

今後のスケジュール（予定）

次回 海部会第28回WGは、9月25日（金）～26日（土）東幡豆（山部会との合同）にて開催します。
内容は、漁業者との懇談や生物観察等を行い、豊かな海のあり方を山部会とともに考えたいと思います。

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 大森、係長 桑、技官 宇野
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@iijnet.or.jp) までお送りください。

